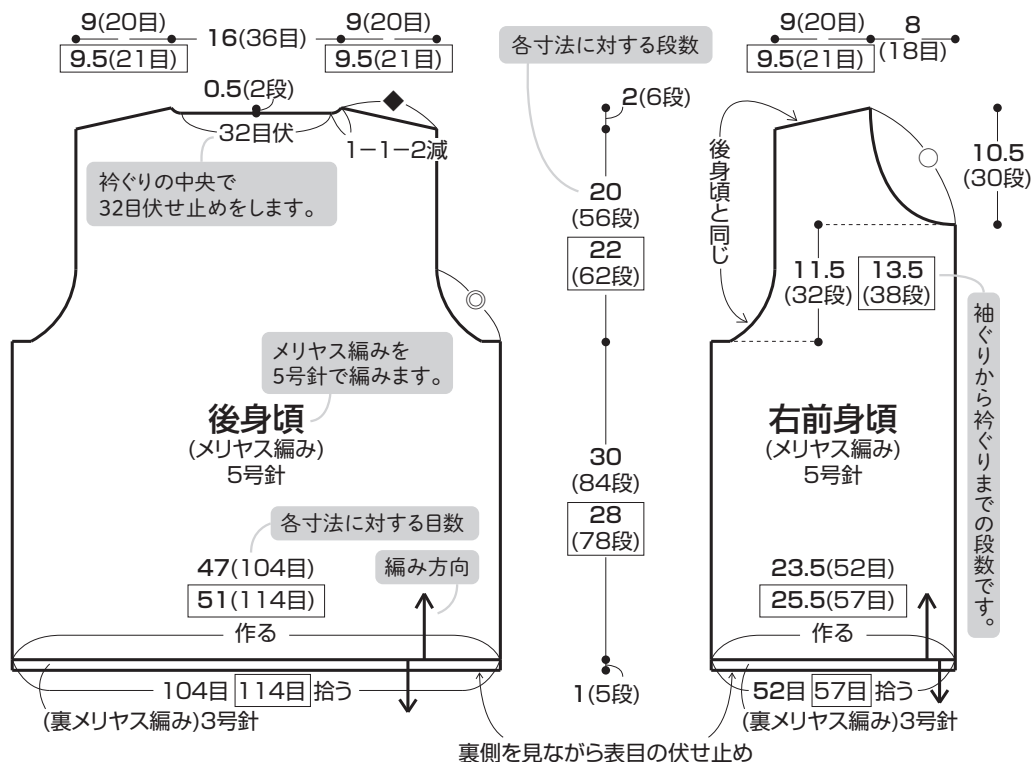


編み図の見方



袖ぐりの減目は
1段ごとに4目が1回、
2段ごとに2目が2回、
2段ごとに1目が5回、
4段ごとに1目が1回
減らしながら編みます。

4-1-1 }
2-1-5 } 減
2-2-2 }
1-4-1 }
段目回

Mサイズの表記です。

4-1-1 }
2-1-4 } 減
2-2-2 }
2-3-1 }
1-6-1 }
段目回

Lサイズの表記です。

5段平
4-1-3 }
2-1-3 } 減
2-2-3 }
1-6-1 }
段目回

ひとつ表記はM・L共通です。

●略語●

- 作る=作り目
- 拾う=拾い目
- 増=増し目
- 減=減らし目
- 伏=伏せ目
- 休=休み目
- 平=増減なく編み進む

※太字の数字は寸法(cm)です

※文字=L寸
指定以外は共通

Lサイズがある作品は、M・Lサイズの寸法・目数・段数を同時に表記しています。編むサイズに注意して編みましょう。

肩の引き返し編みです。
2段ごと5目を引き返し編みで
3回編むと5目残ります。

◆= 5目残
2-5-3引き返し

◆= 5目残
2-5-2 } 引き返し
2-6-1 }

●ゲージについて

ゲージとは編み目の大きさのことです。
ゆるめで大きい目であれば全体が大きくなり、きつめで小さい目であれば全体に小さくなります。
本と同じサイズに編むにはゲージを合わせる事が大切です。
指定ゲージよりも目数・段数が多い(目がきつい)場合は、1~2号太い針に、少ない(目がゆるい)場合は1~2号細い針に替えて調節します。

棒針編みの場合

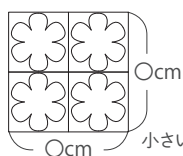
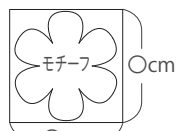
10cm平方あたり何目何段あるかで表記します。
1目1目が数えられない模様編みは、1模様あるいは2模様の大きさを縦・横とも計ります。

かぎ針編みの場合

1段の高さが変わらない細編み(こまあみ)、長編み(ながあみ)、方眼編み(ほうがんあみ)などの編み地は10cmで横何目、縦何段と数えます。複雑で数えにくい編み地は1模様、あるいは2模様の大きさを縦・横とも計ります。

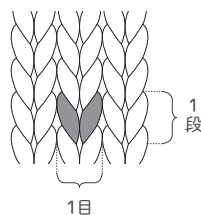
モチーフ編みの場合

モチーフは1枚あたりの大きさを計ります。



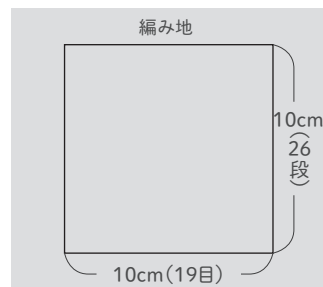
小さいモチーフは2~4枚ずつ計ります。

メリヤス編みの場合



ゲージの計りかた

約15cm角の編み地を作り、その中央で計ります。
※棒針・かぎ針共通



「19目26段が10cm角」と表記します。